

# マテリアリティとサステナビリティ戦略

マテリアリティ	ESG	共有価値	ニトリグループのアプローチ	サステナビリティ経営課題	目標
「お、ねだん以上。」の商品・サービス提供による豊かな暮らしへの貢献 	● ●	お客様の豊かな暮らしに向けた価値創造	<ol style="list-style-type: none"> <li>安さ・適正な品質(機能)・コーディネートへの追求</li> <li>お客様の「不平・不満・不便」の解決</li> <li>暮らしをより豊かにできる新たな価値提供(環境・社会課題解決にもつながる商品・サービス)</li> </ol>	<p>環境に配慮したものづくり・取り組みの推進 → P45 - 46</p>	2030年度までに、 ①廃棄物排出量(一般廃棄物・産業廃棄物)30%削減* (国内売上高1億円あたり、2018年度比) ②産業廃棄物の資源化率95%以上* ③そもそもゴミを出さない取り組みとして以下「資源化」を推進 ●企画・設計段階から再資源化を見据えた商品開発(サーキュラーエコノミー)の拡大 ●商品・梱包材のリサイクル(回収・資源化)の推進 ※①②は国内事業対象
品質管理の徹底による製品安全・安心の提供 	●		<ol style="list-style-type: none"> <li>製造者としての品質管理・製品安全対策</li> <li>サプライヤーへの製品安全文化構築に向けた考え方・取り組みの共有</li> </ol>	<p>廃棄物削減・資源化の拡大 → P47 - 48</p>	
環境に配慮した事業推進 	●	経済価値の拡大と環境・社会価値の同時実現	<ol style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン全体のあらゆる業務の効率化</li> <li>原材料の余すことのない有効利用</li> <li>技術革新による再生素材の有効利用</li> <li>事業活動による温室効果ガス排出量の開示と削減対策</li> </ol>	<p>気候変動問題への対応 → P49 - 50</p>	温室効果ガス排出量削減目標(グローバル、スコープ1.2) 2030年度:2013年度比で50%削減(売上高1億円あたり排出量) 2050年度:カーボンニュートラル(排出量実質ゼロ)
サプライチェーンにおける公平公正な取引と人権尊重 	● ●		<ol style="list-style-type: none"> <li>厳しい基準と現地調査に基づくサプライヤー契約</li> <li>サプライヤーとの「真のパートナーシップ」確立 公平公正な取引・人権尊重・労働環境整備など</li> </ol>	<p>持続可能な調達 → P48</p>	
地域社会への貢献 	●	出店・人材支援・環境支援・文化支援による社会価値の創造	<ol style="list-style-type: none"> <li>暮らしのインフラ企業として、店舗網拡大とお客様に支持される店づくり</li> <li>グローバルな事業展開(出店と雇用創出)</li> <li>災害支援・本業以外での社会貢献活動</li> </ol>	<p>ダイバーシティの推進 → P53</p>	●2030年代には、女性管理職比率を40%程度まで高めることを目指します。 ●外国人の管理職登用を進め、外国人管理職比率の向上を目指します。 ●スペシャリストのスカウトを継続し、中途採用者管理職比率の向上を目指します。
働きがいのある環境づくりとダイバーシティの推進 	●		<ol style="list-style-type: none"> <li>自己成長を実感できる教育制度</li> <li>幅広い事業領域による多種多様な職種への配転</li> <li>誰もが幸せに、健康で安心して働ける環境づくり</li> </ol>	<p>人材育成と組織開発の推進 → P51 - 52</p>	
実効性のあるコーポレート・ガバナンス 	●	経営の透明性 健全性の確保 スピードある意思決定 事業遂行の実現	<ol style="list-style-type: none"> <li>企業の中長期的な成長を支える基盤構築 意思決定の仕組みと活発な議論ができる土台づくり</li> <li>コンプライアンスの遵守</li> <li>強固なリスク管理体制の構築</li> </ol>	<p>健康で安全な職場環境づくり → P54 - 55</p>	海外拠点・自社工場における環境・社会課題への取り組みの推進 → P56 サプライヤーとの真のパートナーシップの構築 → P57 - 58 CSR活動の推進 → P59 - 60 コーポレート・ガバナンス体制の強化 → P61 - 66 取締役会の実効性確保 → P67 - 68

マテリアリティの特定プロセスについてはwebページに掲載しています

